

第2コムハウス通信

2023年9月29日(金)

1074号

お彼岸を過ぎて、急に朝晩冷え込むようになってきました。しかし、日中はまだまだ暑い日も多く、寒暖差が大きくなっているため、お互いに体調を崩さないように、気をつけたいと思います。

秋になって、第2コムハウスの農産物直売所には、りんごが毎日並ぶようになってきました。りんごの産地というと、信州と青森が思い浮かびます。2022年の農水省調査では、りんご生産量の全国一位は青森県で43万9千トン(全国シェア約59%)、長野県は13万2千トン(同約18%)となっていて、信州は青森に大きく水をあけられています。こうしてあらためてみると、予想以上に青森県が生産量がとびぬけていて驚きました。さらに地域別にみると、青森県内では弘前市がダントツの一位。長野県内では一位の長野市がとびぬけています。そして第二位が松本市で生産量は1万6千トン余りです。わたしは毎日の通勤で、梓川地域のりんご畑の中を通ります。この地域は、今まさに収穫時期を迎えていて、朝から農家の方の軽トラックが忙しそうに行き交っています。おいしくて新鮮なりんごをいつでも安く食べられる…そんな土地に暮らしているのは本当に幸せだと感じます。10月9日(月・祝)祝日開所では直売所の「果物フェア」も開かれます。ぜひご来店ください。

